





◎計画概要

○面積表

- 敷地面積 : 262.68㎡ (約80坪)
- 建築面積 : 102.47㎡ (約31坪)
- 建蔽率 : 39.00% < 40%
- 1階床面積 : 102.47㎡ (約31坪)
- 延床面積 : 102.47㎡ (約31坪)
- 容積率 : 39.00% < 80%

○規模・構造

- 木造平屋建・在来軸組工法

◎仕上表(案として)

- 主な想定外部仕上げ
 - 外壁 : 土塗り壁風装飾仕上塗材
 - 屋根 : ガルバリウム鋼板、一文字葺き
 - 建具 : 木製ペア、防腐塗料(防音)
- 主な想定内部仕上げ
 - 天井 : 珪藻土塗り仕上げ(防音)
 - 内壁 : 珪藻土塗り仕上げ(防音)
 - 床材 : 主にウッドデッキ材(防滑)水回り、倉庫はPタイル等
 - 建具 : 木製、天然塗料仕上げ
- その他設備(電気・水道・プロパン他)
 - 防犯、防火設備、LED、無線LAN等

◎予算計画(案として)

- 総建設費 約3,000万円(税込)
 - 本体工事費 : 約1,950万円
 - 設備工事費 : 約350万円
 - 設計監理料 : 約300万円
 - 外構工事費 : 約300万円
 - 地質調査費、予備費 : 約100万円
- 別途費用
 - 測量費、地盤改良費、既存解体費、農地転用費用、登記等
- その他予算捻出方法
 - 補助金、有志寄付、協賛(資材提供等)

◎計画趣旨

- まちに開かれた来館しやすいデザイン
 - 平屋かつ軒先の高さを抑えることで、圧迫感のない親しみやすい外観になります。
 - 開口部を可能な限り多く設けることで、開かれた外観になり、館内の活動が垣間見れるため、気軽に立ち寄れる親しみやすい自治会館になります。また、防犯性も高まります。
- まちの景観に配慮した計画
 - まちの景観に調和するように、親しみやすい古民家風の建物形状をベースとした外観とし、シンプルかつシンボリックにデザインすることで、地域のランドマークにします。
- 日常的なまちの交流拠点
 - 建物周囲に、交流拠点として日常的に利用できるように、オープンテラスを計画します。オープンテラスは、回遊動線であると同時に、憩いの場として、いつでも自由に使えます。
- バリアフリーに配慮した計画
 - 高齢者の方等に配慮した緩やかなスロープを設け、バリアフリーなアプローチになります。
 - トイレも条例対応とし、開口部の建具は全て引戸、段差等は解消します。
- 地震に強い自治会館
 - 柱間を一般的な910mmから1365mmとすることで、耐力壁の単位を通常の1.5倍とし、可能な限り開口部を確保しながら、効率的に強度を高める計画とします。
 - 平屋とすることで、単位面積当たりの建物重量を軽くし、受ける地震力を軽減させます。
 - 軒を含むシコロ屋根全体を構造用合板等で面として固めることで、強度を高めるとともに、タガのように外周部を締め固め、自由度の高い無柱空間の実現に寄与させます。

